

カナダにてSAGD法によるオイルサンド生産設備を受注

平成 25 年 9 月 11 日

東洋エンジニアリング株式会社

東洋エンジニアリング株式会社(TOYO、取締役社長 石橋 克基)はカナダ現地法人Toyo Engineering Canada Ltd. (Toyo-Canada)を通じて、石油資源開発株式会社の子会社であるJapan Canada Oil Sands Limited (JACOS)より、カナダ・アルバータ州ハンギングストーン鉱区(同州フォートマクマレー市より南西 50km)でのオイルサンド開発事業に関わる、SAGD法^{*1}によるビチューメン(オイルサンド層から採取される超重質油)生産設備の設計、調達、工事業務を受注しました。契約から 2.5 年後の設備完成を目指しています。

JACOS は、ハンギングストーン鉱区内において既に日産 6,000~7,000 バレルのビチューメンを生産しています。今回の事業は同地域の隣接地での本格的な商業生産設備を建設するものであり、オペレーターである JACOS (権益保有 75%)とカナダの資源大手 Nexen Energy ULC(同 25%、中国海洋石油有限公司の 100%子会社)との共同事業として進められます。

カナダ、アルバータ州のオイルサンド開発は当初の露天掘り(Mining)から、オイルサンド層から直接ビチューメンを回収するIn Situ法^{*2}に軸足を移しています。今後もSAGD法を中心としたIn Situ法による設備を中心に開発が進むため、今回と同様設備の建設が多数計画されています。

TOYO は現地の Toyo-Canada を核に、オイルサンド開発及びアップグレーディングなど関連設備の初期計画、基本・詳細設計、調達、建設について事業を展開していくとともに、油水分離、ビチューメン軽質化や環境保全などの新技術分野にも取り組んでまいります。

*1 SAGD 法: Steam Assisted Gravity Drainage、水蒸気を井戸に圧入してビチューメンを回収する方法

*2 In Situ 法: in situ は in place(その場で)の意。この場合、地下で砂と分離して生産する方法のこと

受注概要

- 客 先: Japan Canada Oil Sands Limited (JACOS、石油資源開発株式会社の連結子会社)
- 受注者: Toyo Engineering Canada Ltd. (カナダにおける東洋エンジニアリング株式会社の 100%子会社)
- 建設地: カナダ、アルバータ州ハンギングストーン鉱区
- 対象設備: SAGD 法によるビチューメン中央基地生産設備 (初期日産 20,000 バレル。30,000 バレルまで増産可。水蒸気発生装置、油水分離設備、水処理設備、製品貯蔵設備より構成)
- 役務内容: 詳細設計・調達・工事
- 工期: 契約後 2.5 年を目標
- 契約金額: 約 8 億カナダドル

<お問い合わせ先>

広報・IR 室 [担当:佐藤、深沢] Tel: 047-454-1113